

武豊町議会議長 青木 信哉 殿

武豊町議会議員 石川よしはる

一 般 質 問 の 通 告 に つ い て

令和6年第4回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質 問 事 項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
<p>1. 職員の定員管理について</p>	<p>【趣旨説明】</p> <p>近年、武豊町の人口は、43,000人台をほぼ横ばいに推移しています。国立社会保障・人口問題研究所の推計では、およそ20年後の2045年には、人口は4万人を割り、25年後の2050年には、39,000人を割ると推計されています。高齢化率(総人口に占める65歳以上の人口の割合)は、2020年に25.2%であったものが、2045年には32.5%、2050年には33.4%と推計されています。人口減少・少子高齢化の進行は、多分に漏れず、本町でも急速に進んできています。このことは、地域経済や地域活力の低下にも繋がると考えられます。行政に求められる役割やニーズはより複雑化・多様化し、社会保障負担の増大などにより、財政状況も厳しくなることが考えられます。</p> <p>一方、平成31年4月には労働基準法が改正され、個々の事情にあった多様なワーク・ライフ・バランスを実現するため、就業機会の拡大や意欲・能力を存分に発揮できる環境を作り、職員の心身の健康を守るため労働時間を見直すなど、職員の働き方改革の推進も重要な課題となってきています。</p> <p>時代が複雑かつ加速度的に遷り変っていく中で、必要な行政サービスを維持していくには、住民との共創のまちづくりを進めるとともに、ICTの積極的な活用を進めるなど、これまで以上に効率的・効果的な行財政運営を推進していく必要があると考えます。そして、将来にわたって安定した行政サービスを提供していくには、貴重な行政資源である職員を最大限有効に活用することが必然であり、より一層の適切な定員管理を図っていかねばならないと考えます。</p> <p>武豊町第7次行政改革プランでは、毎年度、適正な定員管理計画を見直し、適正な定員管理を行くと示されています。また、令和4年度財政状況資料集の財政比較分析表の中の人件費・物件費の状況では、定員管理計画に基づきながら、コストの削減に努めていく必要がある。同じく定員管理の状況では、定員管理計画に基づいて計画的に対応していく。また、経常経費析表の人件費では、引き続き定数管理によりコスト増にならないよう努めていく、と示されています。行政自身も定数管理の必要性をしっかりと認識されていると考えます。</p> <p>以上を踏まえ、武豊町の行財政運営をより永続的に健全に進めていくうえで、きめ細やかで時代に即した定員管理を進めていくことと、定員管理を広く住民にも周知し理解していただくことが重要である考え、以下質問します。</p> <p>【質問事項】</p> <p>① 職員数は類似団体と比較し、経年的にどのように推移しているのか。</p> <p>② 人件費と物件費は類似団体と比較し、経年的にどのように推移しているのか。</p> <p>③ 定員管理計画は、どのような目的で策定されているのか。</p> <p>④ 定員管理計画は、具体的にはどのようなものなのか。</p> <p>⑤ 定員管理計画の見直しは、どのように実施されているのか。</p> <p>⑥ 定員管理を、住民にわかりやすく公開する考えについての見解は。</p> <p>⑦ 今後、適正な定員管理は、どのように進めていく考えであるのか。</p>

